



【展覧会開催のお知らせ】

伝えるー災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料 Part2
～水害と向き合う～

<ご挨拶>

この度、UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）において「伝える-災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料 Part2～水害と向き合う～」展を開催します。

本資料は、あいおいニッセイ同和損害保険の前身の一つである同和火災海上保険の初代社長 廣瀬鉦太郎（ヒロセ・エツタロウ）が、関東大地震をきっかけに、18 世紀から 20 世紀初頭にかけて国内で発生した災害にまつわる諸資料を収集したもので、その数約 1400 点にのびります。

昨年の初回展示では、東京周辺の災害と現在のコロナ禍とも重なる疫病に関する資料約 40 点をご覧いただきました。

今回は、Part2 として津波や浸水被害にかかわる刊行物や写真はがきなどの資料を公開します。各資料には、江戸後期から大正大震災までの地震による津波や台風などによる風水害の様子など、今でも人々の生活と生命を脅かす自然災害の生々しい記録と共に、それを教訓に水害に対処した記録などが残されています。

私たちはどのように水害と向き合ってきたのか。今回の展示が、現在の水害とその心構えや備えについて考えるきっかけとなれば幸いです。

<展覧会概要>

■タイトル / 「伝える-災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」 Part2～水害と向き合う～展

■会 期 / 2022 年 9 月 1 日（木）～ 9 月 25 日（日）（月曜定休）【入場無料】

Open/ 11:00 ～ 19:00 *

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります。ご来廊の前には必ずギャラリーの
HP/ <https://unpel.gallery> 及び Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery をご確認ください。

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

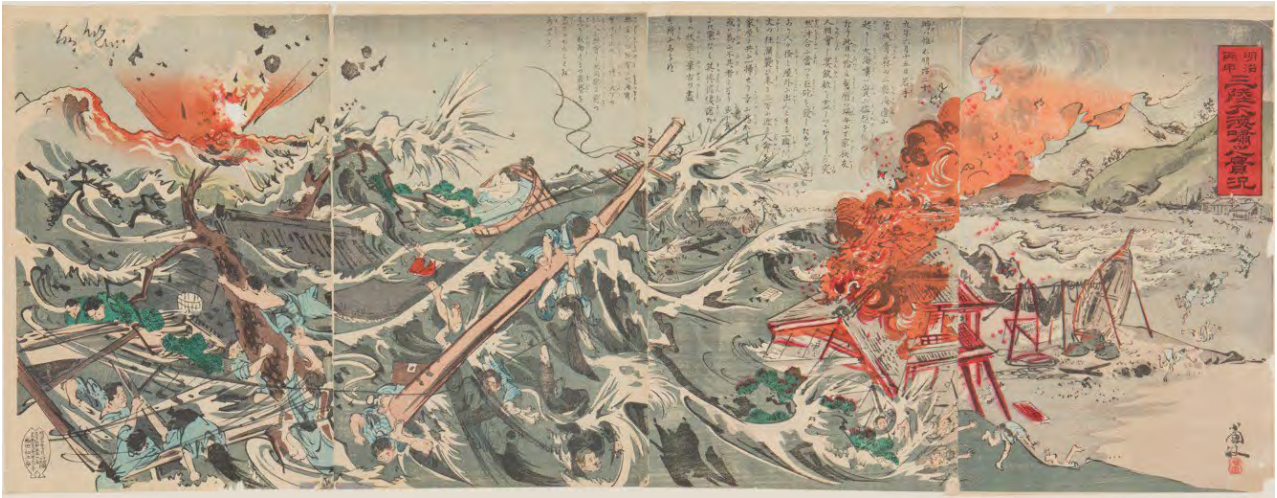
■主 催 / UNPEL GALLERY

■特別協力 / 京都文化博物館（災害資料寄託先）

■企画協力 / NHK サービスセンター

■資料提供 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

< 展示資料より >



「明治丙申三陸大海嘯之実況」 小国政 明治 29 年（1896）錦絵、四枚続

福田初次郎出版・小国政筆による明治三陸津波後の被災地を描いたもの。波に揉まれる人、炎を上げて倒れる家屋の中にも逃げ遅れた人の姿が見える。詞書に「稀有の大海嘯実況を出版して広く天下の仁人に照会し、此同胞の急を救助するの義務を尽せられんことを希望す」とあり、全国的な援助が期待された。



「弘化丁未夏四月十三日
信州犀川崩激六郡漂蕩之図」
弘化 4 年（1847）木版合羽摺

火事の被害があった場所は赤、浸水被害場所は青、土砂災害のあった場所は茶色で塗り分けられている。堰き止められた場所では徐々に水がたまり、地震の約 1 か月後に決壊。このときの洪水の状況を描いている。



「両親愛子の最後を見送るの図ほか三図」 山本 松谷
明治 30 年（1897）石版

明治 29 年（1896）7 月 10 日の『風俗画報』118 号「大海嘯被害録・上」に掲載された図。三陸大津波で離れ離れになった瞬間の親子、材木に首を挟まれて亡くなった人、隣家の女性につかまって波に揉まれている子ども、山田町での出火から逃げる人々を描く。山田町の出火は、被災者が暖をとろうと焚き火をしたことが原因とされる。画家山本松谷は、昇雲の号でも知られた日本画家。脚絆草履ばきで被災地へ出かけ、現地の様子を描き出した。

「慶応四戊辰年大洪水細見図」 慶應4年（1868）木版錦絵



慶応4年（1868）は4月中旬から5月半ばまで雨が続き、淀川流域の各所で浸水被害や橋の流失、堤防が決壊した。淀小橋が流失してその材木が下流の天満橋にひかかり、天満橋の中程が三十間ほど落ちたことなどが記されている。地図は大阪湾上から東を眺めた形の鳥瞰図で、北は淀川沿いの北野や長柄、南は大和川沿いの若林や大堀までが描かれる。大和橋付近は広く浸水して、押し寄せる洪水流や舟に乗る人々が確認できる。

<今後の展示予定>

- 2023年 春季 新潟県立博物館
- 2023年 秋季 福島県立博物館 他、

【展覧会・掲載資料他 お問い合わせ先】

■UNPEL GALLERY（担当 / 中島,内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com

T E L / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

■あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 広報部広報室（担当 / 高力,横井,道前）

T E L / 03-5789-6315 FAX / 03-5424-0773